

JCI 2025
WORLD CONGRESS
TUNIS - TUNISIA





目 次

- 1.チュニス(チュニジア)の基本知識
- 2.空港から市街地へ
- 3.会場施設の紹介
- 4.ホテルの紹介
- 5.チュニス(チュニジア)の観光地①②
- 6.チュニス(チュニジア)のグルメ
- 7.推奨フライト①②
- 8.入国・ビザ
- 9.その他情報①
- 10.その他情報②
- 11.その他情報③
- 12.その他情報④
- 13.チュニジア・チュニス
オプショナルツアー一例
- 14.たびレジ
- 15.治安関係
- 現地飲食店一覧

1.チュニス(チュニジア)の基本知識



【チュニジア共和国】

チュニジア共和国(チュニジアきょうわこく)、通称チュニジアは、北アフリカのマグリブに位置する共和制国家です。西にアルジェリア、南東にリビアと国境を接し、北と東は地中海に面します。地中海対岸の北東・東にはイタリア領土のパンテッレリーア島やランペドゥーザ島、シチリア島があります。地中海の島国マルタとも近いです。首都はチュニスです。

- 【面積】 163,610km²(日本の約5分の2)
- 【人口】 約1,078万人
- 【首都】 チュニス
- 【民族】 アラブ人98%、あとはユダヤ人等
- 【宗教】 国境はイスラム教スンニ派
- 【言語】 公用語はアラビア語、フランス語もかなり通じます。
- 【通貨】 チュニジア・ディナール(TND)
1TND = 約49.53円(2025年6月24日時点)



【国旗】



【国章】

【地理】

国土は、北端から南端までが約850キロメートル、東の沿岸から西方の国境まで約250キロメートルと細長く、南北に伸び、南端は先の細いとがった形です。東はリビア、西はアルジェリアに隣接します。北岸、東岸は地中海に面します。

【概要】

チュニジアは北アフリカに位置する国で、地中海とサハラ砂漠に面しています。首都チュニスにあるバルド国立博物館には、古代ローマ時代のモザイク芸術からイスラム美術に至るまでの考古学遺物が展示されています。メディナと呼ばれる旧市街地区には、壮大なザイトゥーナ モスクや活気に満ちた青空市場のスークがあります。東部にはアントニヌス浴場をはじめとするカルタゴ遺跡が残っており、カルタゴ博物館では工芸品が展示されています。

2.空港から市街地へ

【チュニス・カルタゴ国際空港】



◆チュニス・カルタゴ国際空港◆

(IATAコード:TUN・ICAOコード:DTTA)は、チュニス(チュニジアの首都)にサービスを提供しています。チュニスの北東8kmに位置し、1940年に運用が開始されました。空港の名前は、空港の東に位置する歴史的な都市カルタゴにちなんで名付けられました。

移動手段	料金(チュニス中心部まで)	所要時間
タクシー	30TND(約1500円)	10分
バス	1TND(約50円)	30分以上

【車・タクシーでお越しの場合】

チュニス・カルタゴ空港からチュニス中心部まで、車での所要時間は約12～13分です。(交通状況にもよります)



【バス】

空港からは、ターミナルのすぐ外にあるバス停に向かいます。市内中心部行きのバスに乗り、Avenue Mohamed Vバス停又はTunis Marineで下車します。HQホテルは、バス停より徒歩約10分～15分です。



【タクシーアプリ】

チュニジアで最も利用されているアプリは『InDrive』というアプリです。詳細は、下記URL又はQRよりご確認ください。

https://travelsun.jp/?page_id=35791



※タクシーの支払いは、現金のみとなります。

3.会場施設の紹介



【メイン会場】
ラディソン・ブル・コンベンションセンター
(ライコ・チュニスセンターホテル)



ラディソン・ブル・コンベンションセンター(旧ライコ・チュニス)がメイン会場となります。この一流のホテルとコンベンションセンターは、総会のための大きな集会所を提供しています。トレーニング、コンペティション、ワークショップ用の複数の会議室と、設計された専用スペース 有意義なネットワーキングの機会を促進するため。セッションに参加している方も、コンペティションに参加している方も、他のJCIメンバーと会っている方も、この会場は、エンゲージメントと交流に最適な環境を提供します。

【式典会場】 **チュニス文化都市**

チュニス文化都市では、開会式をはじめ、イベントの重要な場面が開催されます。そして、現代チュニジアのランドマークであるこの会場は、忘れられないスタートを切るための壮大な環境を提供します。



メイン会場ラディソン・ブル・コンベンションセンターは、チュニスの中心部に位置しています。チュニス・カルタゴ空港から車約10分でアクセスできます。

4.ホテルの紹介

【ラディソン ブル ホテル & コンベンション センター チュニス】

市内中心部に位置し、チュニス湖を見渡す高級ホテルです。カンファレンス パレス展示センターから徒歩 7 分、チュニス カルタゴ国際空港から 7 km です。洗練された客室からは市街または湖の景色を望め、Wi-Fi、テレビ、ミニバー、紅茶／コーヒーマーカーを完備しています。ルームサービスは24時間ご利用いただけます。高級レストラン2軒、ロビーバー、屋上バー、シーシャラウンジを併設しています。屋内プール、屋外プール、ジム、サウナとハمامを備えたスパも併設しています。



【空港からのアクセス】

タクシー利用の場合:所要時間約10分

相場料金: \$ 4~6

※乗車前にドライバーと料金交渉又は確認をすることをおすすめします。

公共バスを利用する場合:所要時間約20分

635線バス Aeroport Carthage乗車→Tunis Marine下車・・・徒歩15分・・・ホテル

※チュニスの公共バスの料金情報は公開されていません。

※運賃は基本的に現金払いですが、事前に運転手に料金を確認するか、他の乗客の支払い方法を参考にするのが良いでしょう。

※車内アナウンスがない場合があるので、主要な停留所や目的地に近づいたら周りの乗客や運転手に確認しましょう。



住所 Human Rights Square,
Ave Mohamed V, Tunis 1001
チュニジア
電話番号 ☎ +216 70 244 420
Eメール ✉ info.tunis@radissonblu.com



【ホテル ゴールデン チューリップ エル メクテル】

チュニスの中心部に位置し、静かなベルヴェデーレ公園の近くです。ビジネスやレジャー旅行にも快適で便利な滞在を提供します。チュニス・カルタゴ空港から車ですぐの場所にあります。ホテルは広々として、エアコン完備、設備の整った客室とスイートは、モダンな内装を兼ね備えています。リラックスした滞在を確実にするための実用的な設備を備えています。バーや屋外スイミングプール、マッサージ&トリートメントサービス付きのビューティーセンター、様々なレジャー施設を併設しています。



【空港からのアクセス】

タクシー利用の場合:所要時間約10分

相場料金: \$ 4~6

※乗車前にドライバーと料金交渉又は確認をすることをおすすめします。

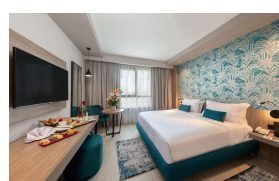
公共バスを利用する場合:所要時間約40分

635線バス Aeroport Carthage乗車→Charguia1下車・・・徒歩7分・・・ホテル

※チュニスの公共バスの料金情報は公開されていません。

※運賃は基本的に現金払いですが、事前に運転手に料金を確認するか、他の乗客の支払い方法を参考にするのが良いでしょう。

※車内アナウンスがない場合があるので、主要な停留所や目的地に近づいたら周りの乗客や運転手に確認しましょう。



住所 Av. Ouled Hafouz, Tunis 1005
チュニジア
電話番号 ☎ +216 71 783 20



5.チュニス(チュニジア)の観光地①

【グランド・モスク】(オリーブモスク)

★チュニスのシンボルはなんといっても「オリーブの木のモスク」と言われている、その名に相応しい端正にして美しいグランド・モスク(ジャマー・ジトゥーナ)

687年に建設が開始され、9世紀半ばに完成したと言う、チュニジアではケロアンのモスクに継いで古く、重要なモスク。

13世紀このモスクの周辺が整備され、ケロアン・マファディから都市機能が移管され、チュニジアの首都となった。

13世紀に建設されたアラブ都市文明が香る姿を今に残す街として、1979年、世界遺産に登録されている。



住所: 30 Rue Jamaa Ez Zitouna, Tunis, チュニジア

アクセス: 最寄りの鉄道駅はチュニス駅です。

営業時間: 午前10時～午後5時25分

【バルド国立博物館】

★バルド国立博物館チュニジアのチュニスにある国立博物館である。バルドー国立博物館とも呼ばれる。

博物館では、古代ローマのモザイクや古代ギリシア、チュニジア、イスラム時代の遺物が主な収蔵品である。また、先史時代の文化遺物から近代の宝石に至るまで、様々な物品を展示している。



入場料: 13DT(約420円)

住所: 10 Avenue 2 Mars 1934, Le Bardo, Tunis Governorate

アクセス: 最寄りの鉄道駅はル・バルドー駅です。

営業時間: 午前9時～午後5時

休館日: 月曜日



【フランス門】(バブ・エル・バハル)

★フランス門(バブ・エル・バハル)は、メディナ(旧市街)の入り口に立ちます。

バブ・エル・バハルとはアラビア語で「海の門」という意味があります。昔は海が近かったそうですが、現在は内陸3～5kmの位置にあります。



5.チュニス(チュニジア)の観光地②

【チュニス大聖堂】

★チュニス大聖堂はチュニジアにある数少ないキリスト教会の一つです。聖ビンセント・ド・ポールに捧げられています。

ビザンチンロマネスク様式の大聖堂は 1897 年に造られ、1964 年のチュニジア政府と本部との合意によりチュニジアのカトリック大聖堂となりました。



住所:53 Rue Mokhtar Attia, Tunis, チュニジア
営業時間:8時～12時/15時～17時



【チュニス時計塔】

★ チュニスのシンボルとして立つのが「時計塔」です。チュニスのハビブ・ブルギバ通りにある高さ38メートルの時計はザイン・エル・アビディン・ベン・アリによって2001年に建てられたことから、「ビッグ・ベン・アリ」というニックネームで呼ばれています。

住所:R52P+3HV, Ave Habib Bourguiba, Tunis,
チュニジア

【シディ・ブ・サイド】

★チュニスから少し足を運んで訪れたいのが、青と白が美しい街「シディ・ブ・サイド」です。チュニス駅から電車に乗って約30分で行ける観光地。

住所:V9C2+778, Rue Hedi Zarrouk, Carthage,
チュニジア



6. チュニス(チュニジア)のグルメ



【フリカッセ】

チュニジアのフリカッセは、揚げパンの中に、ハリッサを塗り、ポテトやツナ、オリーブや卵などを挟んだ定番サンドイッチです。

【クスクス】

クスクスは、ぽろぽろとした粒状の食べ物で、一見すると粟(あわ)や稗(ひえ)のようにも見えますが、デュラム小麦粉を原料としたショートパスタです。世界一小さいパスタとも言われています。



【ハリッサ】

ハリッサは、キャラウェイシード、コリアンダーシード、クミン、パプリカパウダー、唐辛子、ニンニク、オリーブオイル、塩などをペーストにしたチュニジアの薬味です。

このハリッサをホームと呼ばれるパンにつけて食べたり、スープに入れて飲んだり、メインの肉につけて食べたりします。スーパーでもチューブタイプのもので販売していますのでお土産で購入されるのがおすすめです。

【デーツ】

チュニジアのスイーツに欠かせないフルーツのデーツ(なつめやし)です。デーツは鉄分、亜鉛、カリウムなどのミネラルと、ビタミンA、Bが豊富といわれています。干し柿のような濃厚な甘みがあり、チュニジアでは日常的に食べられているフルーツです。



7. 推奨フライト①

◆カタール航空の場合◆

① 羽田空港発着(往路 所要時間:21:50 復路 所要時間:25:35)

【往路】羽田空港(23:10)ーカタール航空4851ードーハ(05:05+1日)

(09:05)ーカタール航空1399ーチュニス(13:20)

【復路】チュニス(15:25)ーカタール航空1400ードーハ(22:45)

(08:40+1日)ーカタール航空4850ー羽田空港(01:00+1日)

カタール航空4851便:所要時間12:25
カタール航空1399便:所要時間6:15
カタール航空1400便:所要時間5:20
カタール航空4850便:所要時間10:20

② 成田発着(往路 所要時間:23:25 復路 所要時間:18:30)

【往路】成田(21:55)ーカタール航空807ードーハ(04:40+1日)

(09:05)ーカタール航空1399ーチュニス(13:20)

【復路】チュニス(15:25)ーカタール航空1400ードーハ(22:45)

(02:15+1日)ーカタール航空806ー成田(17:55)

カタール航空807便:所要時間12:45
カタール航空1399便:所要時間6:15
カタール航空1400便:所要時間5:20
カタール航空806便:所要時間9:40

◆ターキッシュ航空の場合◆

① 羽田空港発着(往路 所要時間:19:55 復路 所要時間:17:25)

【往路】羽田空港(22:05)ーターキッシュ航空199ーイスタンブール空港(05:40+1日)

(09:00)ーターキッシュ航空661ーチュニス(10:00)

【復路】チュニス(18:20)ーターキッシュ航空664ーイスタンブール空港(23:15)

(02:30)ーターキッシュ航空198ー羽田空港(19:45+1日)

ターキッシュ航空199便:所要時間19:55
ターキッシュ航空661便:所要時間3:00
ターキッシュ航空664便:所要時間2:55
ターキッシュ航空198便:所要時間11:15

② 関西国際空港発着(往路 所要時間:19:10 復路 所要時間:16:35)

【往路】関西空港(22:50)ーターキッシュ航空087ーイスタンブール空港(05:40+1日)

(09:00)ーターキッシュ航空661ーチュニス(10:00)

【復路】チュニス(18:20)ーターキッシュ航空664ーイスタンブール空港(23:15)

(02:00)ーターキッシュ航空086ー関西空港(18:55+1日)

ターキッシュ航空087便:所要時間12:50
ターキッシュ航空661便:所要時間3:00
ターキッシュ航空664便:所要時間2:55
ターキッシュ航空086便:所要時間10:55

7.推奨フライト②

◆エミレーツ航空の場合◆

① 羽田空港発着(往路 所要時間:20:30 復路 所要時間:23:35)

【往路】 羽田空港(00:05)―エミレーツ航空313―ドバイ空港(06:55)
(08:40)―エミレーツ航空747―チュニス(12:35)
【復路】 チュニス(14:55)―エミレーツ航空748―ドバイ空港(23:30)
(08:20+1日)―エミレーツ航空312―羽田空港(22:30)

エミレーツ航空313便:所要時間11:50
エミレーツ航空747便:所要時間6:55
エミレーツ航空748便:所要時間5:35
エミレーツ航空312便:所要時間9:10

② 成田空港発着(往路 所要時間:22:15 復路 所要時間:18:25)

【往路】 成田空港(22:20)―エミレーツ航空319―ドバイ空港(05:30+1日)
(08:40)―エミレーツ航空661―チュニス(12:35)
【復路】 チュニス(14:55)―エミレーツ航空748―ドバイ空港(23:30)
(02:55+1日)―エミレーツ航空318―成田空港(17:20)

エミレーツ航空319便:所要時間12:10
エミレーツ航空747便:所要時間6:55
エミレーツ航空748便:所要時間5:35
エミレーツ航空316便:所要時間9:25

③ 関西国際空港発着(往路 所要時間:21:05 復路 所要時間:18:10)

【往路】 関西空港(23:30)―エミレーツ航空317―ドバイ空港(05:45+1日)
(08:40)―エミレーツ航空661―チュニス(12:35)
【復路】 チュニス(14:55)―エミレーツ航空748―ドバイ空港(23:30)
(03:05+1日)―エミレーツ航空316―関西空港(17:05)

エミレーツ航空317便:所要時間11:15
エミレーツ航空747便:所要時間6:55
エミレーツ航空748便:所要時間5:35
エミレーツ航空316便:所要時間9:00



8.入国・ビザ

【チュニジアへの入国】

- パスポート 有効期限は入国時点で**3か月以上の残存期間が必要です**。
- ビザは不要 観光や短期滞在(90日以内)の場合、**ビザは不要**です。



【入国手続き】

- 1)機内で配られる入出国カードに必要事項を記入
- 2)入国審査カウンターに並び、パスポートと入出国カードを提出。返却される
出国カードは保管しておく。
※特に厳しい審査はありません。滞在目的や宿泊先・日数などを訪ねられる程度。
- 3)セキュリティチェックを受けた後、飛行機の便名が表示されたターンテーブルで荷物を受取る。

＊下記に該当する場合は税関で申告を＊

- 1 5,000チュニジアディナール相当以上の現金を持ち込む場合(非居住者)
外貨の場合、再度チュニジアから持ち出す際に税関申告書がなければ没収されてしまいます。
- ② 500g以上のタバコを持ち込む場合
- ③ 25度数以上の場合は1リットル、25度数以下の場合は2リットルの酒類を持ち込む場合

9.その他情報①

【通貨】

通貨単位:チュニジアディナール(TD)

補助単位:ミリーム(millim,millime)

※1チュニジアディナール(TD)=1,000ミリーム

硬貨(TD):5、2、1、0.5

硬貨(ミリーム):500、200、100、50、10、5

※現地通貨は、国外への持ち出し禁止です。



【両替】

日本国内ではチュニジアディナール(TD)への両替は不可。

空港や主要都市の銀行、4つ星以上の高級ホテルなどでは、円からTDへの両替も可能な両替所もあるが、かなり数少すとなるため、**日本国にてUSD又はユーロへの両替をお勧めします。**

チュニス・カルタゴ国際空港の両替所は24時間営業です。空港での両替がベストレートとなります。両替所はターンテーブルの側に数店、到着ロビーにも多数あります。

・チュニス・カルタゴ国際空港

(基本的に円からTDへ両替可能ですが、状況によって変わるため、**USD又はユーロからの両替をお勧めします。)**

・都市部にある両替所(メインストリート ハビブ・ブルギバ通りに多く有り)

・都市部にある銀行

(例:チュニジア国立銀行 Banque Centrale de Tunisie)

・日本人ツアー客がよく利用する高級ホテルの一部

(HQホテルではユーロ又はUSDからのみ両替可能)



夏季やラマダンの時期は閉店時間が早まる店舗があるので注意してください。

※注意点※

チュニジアでは通貨が厳しく統制されており、空港、ホテル、銀行などどこで両替してもレートは同じです。ただし、両替した際のレシートを必ず保管してください。

TDは国外への持ち出し禁止ですので、レシートがなければ出国時に再両替ができません。

さらに、出国時の再両替は、入国時に両替した額の1/3までと決まっていますので、必要な分だけ両替し、できるだけ国内で使い切るようにしましょう。

【クレジットカード】

高級ホテルや高級店であれば利用可能です。また、主要都市にはATMが設置されており、VISA,Masterなどのクレジットカードでキャッシングが可能です。

【チップ】

チップの習慣はありますが、あくまで気持ち程度で構いません。

サービスに不満がある場合は不要です。金額の目安は以下の通りです。

ホテルのポーター:0.5~1TD

ルームサービス:1TD

レストラン:食事代の約10%

ドライバー(1日チャーター):10TD

ガイド(1日):15TD



10.その他情報②

【パスポート残存有効期間】

チュニジアへの入国には、パスポートの残存有効期間が**滞在日数+3ヶ月以上**が必要です。

【服装】

女性はあまり肌を露出しない方が無難です。年間を通して日中と夜間の温度差がありますので、長袖の上着は必須です。

【気候】

地中海沿岸部:穏やかな地中海性気候で、1年を通して晴れた日が多く、夏と冬の気温差は約15℃です。夏は気温が40℃以上あっても湿度は低いため、過ごしやすいの
が特徴です。ただし、朝晩は冷え込む日もあるので注意が必要です。

内陸部:大陸性気候で、日中と朝晩の気温差が特に激しいのが特徴です。直射日光が強いので、肌の露出は避けるべきでしょう。また、3~4月は砂嵐が発生することもあるので注意が必要です。

【携行品】

昼と夜の気温差があるので、1年を通して長袖の上着は必携です。また、砂漠や内陸部では日差しが強いので、サングラスや帽子、日焼け止めなどが必要です。
また、基本的にトイレに紙はありませんので、必要であればトイレットペーパーを持って行きましょう。

【食事】

ラブ諸国の中では比較的多彩で、日本人の口に合うものが多いといえるでしょう。地中海でとれる新鮮な魚介類が食べられますが、生のものには気をつけましょう。
メニューの表記は大抵アラビア語とフランス語のみですので、フランス語のガイドブックがあると便利です。
観光客が訪れるようなお店では、大抵お酒も注文できます。食事代の相場は10TDから30TD程度です。

【水】

海外では当然ながら、生水には注意が必要です。飲用には必ずミネラルウォーターを購入しましょう。
500ml入りでおよそ0.500TDから1.000TD位です。

【電気】

電圧もプラグの形状も異なるため、日本の電気製品を使うには変圧器とアダプターが必要になります。

電圧: 220~240V
プラグ: Cタイプ



11.その他情報③

【健康に関する情報】

チュニジアはマラリアなどの感染症は特に心配はないとされ、予防注射の必要はありません。ただし、魚介類でA型肝炎に感染するケースもまれにありますので、生ものは避けた方が無難です。

【急な病気・怪我】

急な病気や怪我に備えて保険に入っておきましょう。

日本人が医療を受ける場合、泊まっているホテルのフロント(または旅行代理店)に聞くのが一番です。高級ホテルは、往診してくれる医師がおり、大抵は英語のできる医師が往診してくれます。往診料込みの診察料のみなら50ユーロ程度です。入院や検査治療が必要と言うことになれば、往診医がクリニックや病院・検査所を紹介してくれます。検査所も時間帯によっては往診してくれます。

les cliniques El Manar(エルマンークリニック)

所在地:Rue Habib Echatti, 2090, El manar-1, Tunis

電話:+216 71-885-000

ホームページ:<https://lescliniqueselmanar.com/>



Clinique Soukra(スクラクリニック)

所在地:Rue Cheikh Mohamed Enneifer, 2036, LaSoukra, Tunis

電話:+216 36-406-300

ホームページ:<https://www.taoufikhospitalsgroup.com/clinique-soukra/>



Polyclinique Les Jasmins(ポリクリニーク・レ・ジャスミン)

所在地:Lot E 18 Centre Urbain Nord, 1003, Tunis

電話:+216 36-089-000

ホームページ:<https://polycliniquelesjasmins.com/>



12.その他情報④

これは覚えておきたい！チュニジア語のあいさつ

日本語	チュニジア語
こんにちは	アッサレーム・アレイコム
おはよう	スバーハルヒール
おやすみ	タスビハーラヒール
バイバイ！	ビッセレーマ
ありがとう	シュ克蘭
すみません／ごめんなさい	サマハニ
はい	ナーウム
いいえ	レエ

チュニス(チュニジア)のお土産



【香水】

チュニジアは古代から香料の生産が盛んで、フランスの香水産業にも深く関わってきた歴史があります。

ジャスミンやオレンジフラワー、ローズなど花の香りが人気で、それらをブレンドした香水も多くあり世界中から愛されています。

プレゼントや自分用のお土産としてもぴったりで、豊かな自然環境から生まれる香りを楽しめるアイテムの一つです。



【キリム】

キリムはチュニジアの伝統的な手織りの敷物で、美しい模様と独特の色合いが特徴です。織り手の技術とアイデア、独自の文化とデザインが盛り込まれたチュニジアのキリムは、手作りのため品質が高く世界中で高い評価を得ています。

丈夫で耐久性も高く、ホームデコレーションとしても人気です。

文化遺産の象徴ともいえるキリムは、チュニジアを訪れた旅行者にとって素晴らしいお土産の一つです。



【コッファ】

コッファとは藁やバンブーで編まれたカゴのことで、チュニジアの伝統的な手工芸品のひとつです。

実用性と美しさを兼ね備えた魅力的なアイテムで、バッグや収納ボックス、家具などに使われています。

手作りで丁寧に編まれているため、それぞれがユニークなデザインとなっており、他のお土産とは違った魅力を持っています。

チュニジア旅行の思い出を持ち帰るのにぴったりな美しく実用的なコッファは、お土産としても贈り物としてもおすすめです。

13.チュニジア・チュニス オプショナルツアー一例

①チュニスの定番観光地4つを巡るチュニス周遊1日プラン

＜予定スケジュール＞

09:00 ホテル出発

09:30 - 10:30 チュニジアで最も美しい街並みシディ・ブ・サイドを散策

10:45 - 12:15 世界遺産カルタゴ遺跡群を訪問

→ビュルサの丘のカルタゴ遺跡を見学

→アントニヌスの共同浴場を訪問

→古代カルタゴの港を見学

→トフェ(タニト神の聖域)を訪問

12:30 - 13:30 ラ・グレットのローカルレストランに昼食

14:00 - 15:30 バルドー博物館を訪問

15:45 - 16:45 世界遺産チュニスの旧市街メディナを散策

17:00 ホテル到着



◆料金(4名様以上)

- | | | |
|--------------|-------|---------|
| ・英語ガイド利用の場合 | 1名様当り | 28,000円 |
| ・日本語ガイド利用の場合 | 1名様当り | 31,800円 |

★料金に含まれるもの★

- ・日程中の専用車、ドライバー代
- ・日程中のガイド代
- ・日程中の遺跡、博物館等の入場料
- ・日程中の食事代 - 昼食1回

★料金に含まれないもの★

- ・日程中の食事時のお飲み物代
- ・日程中の水、お土産などの個人的費用
- ・日程中のガイド、ドライバーへのチップ代

★その他★

- ・ガイド、ドライバーのチップは1日10～20TNDを目安にお願いいたします
- ・日本語ガイドは限りがあるため、手配が出来ない事がございます。



13.チュニジア・チュニス オプショナルツアー一例

②チュニジア中部の世界遺産3都市を巡る、1日さくっと駆け足ツアー

＜予定スケジュール＞

07:00 ホテル出発

09:00 - 10:30 世界遺産都市**ケロアン**を訪問
→ケロアンの**グランド・モスク**を見学
→**シディ・サハブ**霊廟を訪問
→アグラブ朝時代の貯水池を見学

12:00 - 13:00 世界遺産**エル・ジェム**の円形闘技場を訪問

13:00 - 14:00 エル・ジェムのローカルレストランにて昼食

15:00 - 16:00 地中海リゾート地スースを訪問
→世界遺産 スースの旧市街**メディナ**を散策
→スースの**リバト**を訪問

17:00 ホテル到着



◆料金(4名様以上)

- | | | |
|---------------|-------|---------|
| ・ 英語ガイド利用の場合 | 1名様当り | 33,660円 |
| ・ 日本語ガイド利用の場合 | 1名様当り | 37,400円 |

★料金に含まれるもの★

- ・ 日程中の専用車、ドライバー代
- ・ 日程中のガイド代
- ・ 日程中の遺跡、博物館等の入場料
- ・ 日程中の食事代 - 昼食1回

★料金に含まれないもの★

- ・ 日程中の食事時のお飲み物代
- ・ 日程中の水、お土産などの個人的費用
- ・ 日程中のガイド、ドライバーへのチップ代

★その他★

- ・ ガイド、ドライバーのチップは1日10～20TNDを目安にお願いいたします
- ・ 日本語ガイドは限りがあるため、手配が出来ない事がございます。



13.チュニジア・チュニス オプショナルツアー一例

③チュニジア北西部のローマ遺跡を巡る1日ツアー

<予定スケジュール>

08:00 ホテル出発
10:15 - 11:45 **ブラ・レジア遺跡**を訪問
12:45 - 13:45 テブルスークにて昼食休憩
14:00 - 16:00 世界遺産 **ドゥッガ遺跡**を散策
18:00 ホテル到着



◆料金(4名様以上)

- ・ 英語ガイド利用の場合 1名様当り 26,200円
- ・ 日本語ガイド利用の場合 1名様当り 30,000円

★料金に含まれるもの★

- ・ 日程中の専用車、ドライバー代
- ・ 日程中のガイド代
- ・ 日程中の遺跡、博物館等の入場料
- ・ 日程中の食事代 - 昼食1回



★料金に含まれないもの★

- ・ 日程中の食事時のお飲み物代
- ・ 日程中の水、お土産などの個人的費用
- ・ 日程中のガイド、ドライバーへのチップ代

★その他★

- ・ ガイド、ドライバーのチップは1日10～20TNDを目安にお願いいたします
- ・ 日本語ガイドは限りがあるため、手配が出来ない事がございます。

☆上記予約申込の締切日:2025年10月20日(月)15:00迄

☆ご予約希望の方は、下記のメールアドレスまたはお電話にてお問い合わせください☆

近畿日本ツーリスト(株)鹿児島支店 (営業時間:10:00～17:00 平日)

担当:末次

TEL:080-8368-8192

MAIL:h.suetsugu377@kntct.com

14.たびレジ

たびレジ 登録のご案内

外務省の『たびレジ』は、海外渡航者の安全を守る無料サービスです。登録することで、現地の最新治安情報や緊急時の支援を受けられます。LINEから簡単に登録できるので、ぜひご利用ください。

「たびレジ」に登録で

簡易登録で

安心1 出発前から 旅先の安全情報 を入手！  「〇〇地区では外国人旅行者を狙ったひったくりが多発しています！」	安心2 旅行中も 最新情報 を受信！  「〇〇地区では外出禁止令が発出されました！」	安心3 現地で事件・事故に 巻き込まれても 素早く支援！  「被害に遭われていませんか？」	安心4 日本にいても 世界の最新情報 を入手！  △△地区で地震が発生！ ××国で感染症が流行！
---	---	---	---

たびレジ 登録手順(LINEから)

- ① 右記のQRコードを読み取る、または「たびレジ」で検索
- ② LINEで『友だち追加』をタップ
- ③ 利用規約に同意
- ④ 氏名・メールアドレス・滞在先情報を入力
- ⑤ 登録完了！ → LINEで安全情報が届きます
※ 登録は無料、所要時間は1分程度です。



安心ポイント

- 安心1** 出発前から旅先の安全情報を入手
例: 〇〇地区では外国人旅行者を狙ったひったくりが多発しています！
- 安心2** 旅行中も最新情報を受信
例: 〇〇地区では外出禁止令が発出されました！
- 安心3** 事件・事故に巻き込まれても素早く支援
例: 「被害に遭われていませんか？」と安否確認の連絡が届きます。
- 安心4** 日本にいても世界の最新情報を入手
例: △△地区で地震が発生！ ××国で感染症が流行！

まとめ

『たびレジ』に登録することで、旅行前・旅行中・日本滞在中を通じて安全情報を入手でき、万が一の際も迅速なサポートを受けられます。安心してご参加いただくために、ぜひ事前に登録をお願いいたします。

15.治安関係

【チュニジアの治安】

チュニジアの治安は、一部の地域ではとくに注意が必要です。首都チュニスなどの主要都市部は比較的安全ですが、一般犯罪やテロのリスクがあるため、最新の治安状況を確認することが重要です。詳細は下記、外務省ホームページをご確認ください。

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/tunisia/index.html>

※夜間の治安状況※

チュニジアの主要都市では、夜間の治安は不安定です。人気のない場所での一人歩きはさけてください。夜間の移動には、正規のタクシー会社を利用するのがおすすめです。流しのタクシーは避けましょう。公共の場所では周囲に十分注意し、夜間の徒歩移動は極力控えるのが賢明です。

【チュニジアで被害にあわないための防犯対策】

チュニジアで安全に過ごすための防犯対策を3点、ご紹介していきます。

事前にしっかりチェックして、旅行に備えましょう！

★貴重品は目立たない場所に★

パスポートや多額の現金、クレジットカードなどの貴重品は、できるだけ目立たない場所に保管しましょう。ホテルの金庫を利用するのが一番安全です。外出時は必要最小限のものだけを持ち歩くようにしてください。

☆スリや置き引きに注意

観光地や人ごみでは、スリや置き引きに十分な注意が必要です。バッグは体の前で持ち、貴重品は内ポケットに入れるなどの対策を。後ろポケットに財布を入れるのは避けましょう。不審者に近づかれたら、その場を離れるのが賢明です。

☆夜間の一人歩きは控えめに

夜間の一人歩きは、できるだけさけるのが無難です。どうしても夜間に外出する必要がある場合は、信頼できるタクシー会社を利用しましょう。流しのタクシーには乗らないようにしてください。

☆両替は公式の場所で

現地通貨への両替は、銀行やホテル、空港など公式の両替所を利用するのが安全です。見知らぬ人からの両替の誘いには絶対に乗らないでください。レートがよすぎる両替商は、詐欺のリスクがあるので、利用を控えましょう。

【もしチュニジアで犯罪の被害にあったときの連絡先】

チュニジア旅行中に思わぬトラブルに巻き込まれてしまった時のために、事前に緊急連絡先を把握しておくことが大切です。警察への通報、病院への連絡、保険会社への連絡など、冷静に対処できるよう準備しておきましょう。ここでは、チュニジアで犯罪被害にあった際の主要な連絡先をご紹介します。安全で楽しい旅行のために、しっかりとメモを取っておくことをおすすめします。

※緊急通報先※

チュニジアでは、緊急時に以下の番号に電話をかけましょう。

警察:197 救急:190 消防:198

緊急事態が発生した場合は、上記の番号にすぐに連絡を取ってください。オペレーターが対応してくれます。また、盗難など緊急ではない被害の場合は、最寄りの警察署に出向いて被害届を提出するようにしましょう。その際、パスポートを提示する必要があるのを忘れないでください。

【在チュニジア日本国大使館】

住所: 9, rue Apollo XI, B.P 163 – 1082 – Cité Mahrajène – Tunis – Tunisie

電話: +216 – 71 – 791 – 251

メールアドレス: ryoji@ts.mofa.go.jp(領事部)

営業時間: 月～金 8:30 ～ 12:30、13:30 ～ 17:00(土日祝閉館)

夏季営業時間: 月～金 8:00 ～ 12:30、13:30 ～ 16:30(土日祝閉館)

ラマダン営業時間: 8:00 ～ 14:30

公式サイト: https://www.tn.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html



16.飲食店一覧

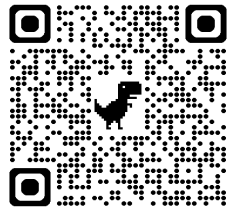
【フランス料理・地中海料理・チュニジア料理】

★La salle à Manger // フランス料理 酒○

<https://www.facebook.com/salleamangerpageofficielle/>

HQホテルから車で約5分

アルコール提供時間等詳細は上記URLまたはQRにてご確認ください。

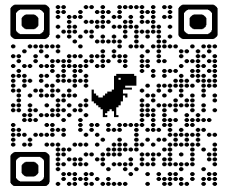


★Restuarant L'astragale // フランス料理 酒○

<https://www.restaurant-lastragale.com/>

HQホテルから車で約5分

アルコール提供時間等詳細は上記URLまたはQRにてご確認ください。



★Le Baroque // 地中海料理 酒○、日本大使館近くにあるレ

<https://fr-fr.facebook.com/RestaurantBarLeBaroque/>

HQホテルから車で約5分

アルコール提供時間等詳細は上記URLまたはQRにてご確認ください。



★Dar El Jeld Restaurant//チュニジア料理 酒○ 高級感漂う作りのレストラン

<https://www.dareljeld.com/gastronomie>

HQホテルから車で約10分

アルコール提供時間等詳細は上記URLまたはQRにてご確認ください。



★その他、レストラン情報は下記のURLよりご確認ください。

https://www.tripadvisor.jp/Restaurants-g293758-zfp10954-Tunis_Tunis_Governorate.html

【アルコールについて】

チュニジアはムスリムの国なので公共の場での飲酒は名目上禁止とされています。

しかし、観光大国、そして先進的なイスラム精神を推奨しているチュニジアは非常に国際的な考え方を持っているのでアルコールの購入は可能です。そして比較的容易です。

チュニジア人も文化的ムスリム、飲酒するチュニジア人も少なくはありません。そのため、街中の大き目のスーパーマーケットにはアルコールが販売されており、通りにはバーもあればアルコールをだすレストランもわりとあります。ここでアルコールをチュニジアで購入する際に気を付けるべきことを書いておきます。

- ・ムスリムの集団礼拝日である金曜日とムスリムの断食の月のラマダン中お店で酒を買うことが出来ません。スーパーでもアルコールコーナーはすべて閉められています。※飲食店で飲むことは可能です。
- ・バーなどの大衆酒場はお店のガラスがマジックミラーとなっており、中で飲酒をしている人が外から見えないようになっています。
- ・外国人向けホテルや高級レストラン意外の中流レストランで飲酒をする場合は奥の部屋が好ましいです。出入り口付近は避けましょう。
- ・アルコールを購入した際は必ず中身の見えない袋にいれて持ち運びましょう。